

1 これまでの計画及び実績

■「スマートエネルギー都庁行動計画」

<計画期間>

2015年度から2019年度までの5カ年

<削減目標・取組及び実績>

温室効果ガス・エネルギー消費量の削減、再生可能エネルギーの導入に関する目標及び目標達成に向けた具体的取組を規定

	2019年度目標	実績
温室効果ガス排出量	2000年度比▲25%	▲20.9%
エネルギー消費量	2000年度比▲25%	▲20.8%
太陽光発電新規導入量	4,200 kW	4,738 kW

<対象範囲>

知事部局、教育庁、警視庁、東京消防庁、議会局、各行政委員会事務局及び東京都職員共済組合の事業所、自動車敷地外工作物(信号・街路灯等)

※公営企業局は対象外、東京2020大会の新規施設は除く

（参考）公営企業局を含む都庁全体の実績

	2019年度見込み※	実績
温室効果ガス排出量	2000年度比約▲18%	▲16.3%
太陽光発電累計導入量	22,000 kW	24,871 kW

※スマートエネルギー都庁行動計画策定時に、各公営企業局が推計した2019年度排出量等の見込値と、知事部局の目標値を足したもの

2 結果の主なポイント

温室効果ガス排出量、エネルギー消費量 主なポイント

- 施設内照明・道路照明のLED化、省エネ機器の導入、空調運転の省エネチューニング等によるエネルギー使用量の減少があった。
- 一方で、新規開設の事業所、改修工事が完了し営業を再開した事業所などがあり、エネルギー使用量の増加があった。
- その結果、約4ポイント程度削減目標値に届かなかった。
※温室効果ガス排出量等の年度別推移、局等別の温室効果ガス排出量・主な増減要因については、資料2、3を参照
- その他の取組として、再エネ100%電力調達を進めた。
※都庁舎版RE100や、とちよう電力プランの実施
→ 新たな計画では温室効果ガス排出量に反映

太陽光発電新規導入量 主なポイント

- 豊洲市場2,000kW、東京国際展示場800kW、東京都公文書館300kWなどで大規模な太陽光発電設備が導入された。
- 改修工事で導入する事例もあり、新規導入量目標4,200kWを達成した。